



# 立野

練馬区立立野小学校

平成28年 9月号

<http://www.tateno-e.nerima-kyo.ed.jp>

## 「オリンピックから学ぶこと」

校長 池上 育志

42日間の夏休みが終わり、子供たちの元気な声が校舎、校庭に戻ってきました。今年の夏もご家庭で夏休みでこそ味わえる体験を皆、味わってきたことと思います。

さて、この夏はリオデジャネイロ オリンピックで世の中がわいていたと思います。東京大会が4年後ということもあり、私もいつも以上に興味をもって見ていました。日本の選手たちもとてもよく活躍し、様々な感動を私たちに与えてくれました。水泳、体操、柔道、レスリング、卓球、陸上競技等、各種目で様々な喜びや私たちに与えてくれた学びがありました。詳しく見ると全種目でと言っても過言ではないと思います。どの競技においても最後まであきらめない姿勢が本当に素晴らしかったと思います。

ただ、競技毎に様々な違いもありました。男子の400mリレーのように最強の国にはおそらくかなわず、それでも自己新記録や一つでもよい結果をめざして努力を重ね、アジア記録を更新し、銀メダルという快挙が大々的に語られる競技もあれば、金メダルのみを期待されている競技、競技者。同じ銀メダルですが、大喜びであったり悔し涙したり。そこには過去のその種目毎の日本にとっての歴史が、とても大きく影響を及ぼしているのではないかと思います。

しかし、私たちがどの種目においても感動を受けるのは、一人一人の選手が、個人として、チームとして今までどれだけの「努力」をしてきているのか。簡単には言葉では表せないほどのことを行ってきたであろうことが想像でき、だからこそ、成果を喜んだり悲しんだり、悔しがったりしている姿に感動を受けるのだと思います。

ところで、「努力は報われる」この言葉は本当のことなのでしょうか。柔道においては、そのほとんどの選手がメダルを手に入れましたが、叶わない選手もいました。「金メダルの努力をしていなかった」と、語る方もありました。「勝負には運もある」「練習は裏切らない」と語る人もいます。シンクロナイズドスイミングでは8名の選手が演技をしましたが、メダルは9名の選手がもらえました。9番目の選手のこともしっかり認めている現れです。ですが、その選手の思いがどのようなものであったかは知るよしがありません。選手なのですから、必ず自分も一緒に泳ぎたかったという思いではなかったのでしょうか。また、代表の各選手は、懸命に努力をしたけれどもオリンピック出場に及ばなかった方々の思いも背負っているのではないかと思いますし、その出られなかった方々がどのような思いで今を過ごしていたのか、想像できそうでも本当の気持ちを知ることは難しいことです。オリンピック種目の数以上にそのような方々は大勢おり、その多くの方々がいるから今回出場の選手もいると思います。4年後の東京大会では日本選手が更に充実していくという見方をする方が多く、私もそう思います。しかし、それは「選手層が厚くなる」ということを根拠にしているのではないかと思います。つまり、今までの成績ではオリンピック出場枠には届かない。よって、出場できた選手は今まで以上の活躍が期待できるということです。ですので、「努力は報われる」は一部の人だけであって、本当なのかと疑いたくもなります。

「努力は報われる」私はこの言葉は真実であると考えます。大切なことは自分自身が一生懸命、努力をし、自分自身に自信をもつことだと思います。努力はその人にとって、真実であり、努力をできたことが大切であると私は考えます。もちろん、祈願成就で全て叶って欲しいものですが、オリンピック出場や金メダル獲得は、そうもいかないことも事実です。しかし、叶わぬ時に折れない心を鍛えることがしっかりした努力にはあると信じます。だからこそ、夢に向けて努力をして欲しいと考えます。間違いなく自分自身を伸ばすことだからです。

11月29日(火)午後、4年生以上を対象にアトランタオリンピックにバスケットボールで出場された萩原美樹子氏の講演会を開催いたします。努力が自己肯定感を高めること、また、大きな夢をもつことの大切さなどを伝えていただきたいと思います。保護者の皆様も参観可能ですので、ご都合のつく方は是非、担任までお知らせください。

また、今月は運動会に向けての練習も始まります。10月1日(土)子供たちが一生懸命に頑張る姿をご期待ください。今学期もどうぞよろしく願いいたします。